

研究実施に関する情報公開

琉球大学医学部附属病院産婦人科では、人を対象とする医学系研究倫理審査委員会の承認を得て、下記の研究を実施します。この研究では、患者様のカルテに記載された臨床データを研究資料として使用させていただきます。患者様には臨床データ利用の目的と趣旨をご理解いただきますよう宜しくお願い申し上げます。また、研究対象者となる患者様は研究実施されることに拒否することができます。その場合は産科婦人科スタッフ又は、下記問い合わせまでご連絡下さい。研究に参加することに拒否された場合でも、不利益が生じることはありません。

研究課題名：【日本産科婦人科学会婦人科腫瘍委員会】本邦における子宮頸癌に対する妊孕性温存手術（単純子宮頸部摘出術、準広汎子宮頸部摘出術、広汎子宮頸部摘出手術）の実態調査

研究期間：人を対象とする医学系研究倫理審査委員会承認後～平成32(2020)年3月31日

対象材料：診療記録情報（カルテ）

目的：将来妊娠・出産を希望する若い女性に早期の子宮頸癌が見つかった場合、広汎子宮頸部摘出術（妊娠する可能性を残す手術）を施行している施設がありますが、日本国内で行われている数や適応など実態については不明です。今回の調査で、手術の対象となる基準や、手術の術式、妊娠した方の転帰など、診療録（カルテ）から実態調査を行うことで、今後の広汎子宮頸部摘出術をどのように普及させていくべきかを検討することで、今後の診療にも役立つことができると考えています。

この研究を行うことで患者さんに余分な負担が生じることはありません。

研究対象：西暦2009年1月1日より2013年12月31日までの間に子宮頸癌に対する妊孕性温存手術（単純子宮頸部摘出術、準広汎子宮頸部摘出術、広汎子宮頸部摘出術）の手術を受けた患者さんが対象となります。日本全国の対象となる基幹病院で調査を実施します。研究の対象となることを希望されない方又は研究対象者のご家族等の代理人の方は、当科までご連絡ください。

方法：対象となる患者さんの診療録（カルテ）より、手術時の年齢、妊娠歴、手術前の卵巣機能評価、手術術式、手術後の病理結果、再発の有無、手術後の妊娠率などの情報を収集します。全国の研究対象者の情報を日本産科婦人科学会で集計します。

プライバシーの保護について：本研究で取り扱う患者さんの情報は個人情報をすべて削除し、第三者にはどなたのものか一切分からない形で集計します。患者さんの情報と個人情報を連結させることはありません。

お問い合わせ：本研究に関する質問や確認のご依頼は、下記の研究事務局へご連絡下さい。また本研究の対象となる方またはその代理人（ご本人より本研究に関する委任を受けた方など）より、情報の提供の停止を求める旨のお申し出があった場合は、適切な措置を行い

ますので、当科までご連絡をお願いします。

【当院の研究責任者】

琉球大学医学部附属病院 産科婦人科 教授

青木 陽一

Tel:098-895-1177 Fax:098-895-1426

【研究代表者】

東海大学医学部附属病院産婦人科

三上幹男

TEL: 0463-93-1121 FAX: 0463-91-4343

【日本産科婦人科学会事務局】

TEL:03-5524-6900 FAX: 03-5524-6911

Email:nissanfu@jsog.or.jp